

報道 「戦線の五画家へ 時局下ゆかしき佐分賞」

『読売新聞』 昭和十三年四月二十二日付

読売新聞 4.22

# 戦線の五画家へ

## 時局下床しき佐分賞

洋画界の鬼才故佐分眞氏の佐分賞  
 第二回受賞者が廿一日午後四時数  
 寄屋座敷東京ニューグランド別室  
 で故人の母堂妙珠(七二)妹保子(三五)  
 長男純一(二六)さんを始め關係畫壇  
 人多数参列の上披露された、今回  
 は作品よりその勞をねぎらふ意味  
 で彩管を銃に代へて戦線を馳驅す

る油彩畫家中より左の五人を選ん  
 だ、藝術賞としては異例的なもの  
 として注目される

受賞者 笹岡了一(白日會)中村  
 節也(獨立美術協會)原精一(春  
 陽會)平通武雄(東光會)山田正  
 (國畫會過日凱旋)【寫真上から  
 中村、原、平通の三氏】

画家中より左の五人を選んだ。芸術賞としては異例的なものとして注目される。

〔受賞者〕 笹岡了一(白日會)、中村節也(獨立美術協會)、原精一(春陽會)、平通武雄(東光會)、山田正(國畫會、過日凱旋)。

【写真上から 中村節也、原精一、平通武雄氏】

洋画界の鬼才故佐分眞氏の佐分賞第二回受賞者が廿一日午後四時、数寄屋橋際東京ニューグランド別室で、故人の母堂妙珠(七二)、妹保子(三五)、長男純一(二六)さんをはじめ關係画壇人多数参列の上披露された。今回は作品よりその勞をねぎらふ意味で、彩管を銃に代へて戦線を馳驅する油彩